

履修生募集概要

アドミッションポリシー

医・工・薬・産・公の分野で多彩な教育プログラムを実施し、今後日本でますます進んでいく超高齢社会のニーズに対応できる、また国際標準化を理解・実践できる総合医療開発リーダーを育成します。

▶ 応募要件

本プログラムは博士課程(5年又は4年)一貫の大学院教育を行います。本プログラムを履修する学生は、先ず所属研究科となる京都大学医学研究科・工学研究科・薬学研究科の入学試験に合格し、修士課程、博士課程[4年制]、又は博士後期課程に入(進)学することを前提としています。ただし、これらの学部出身者である必要はありません。他大学出身者・留学生・社会人(プログラム開始後はこれに専念する場合)も上記条件を満たせば応募可能です。

▶ プログラム履修生の募集・選抜方法・時期 (平成31年度 受入履修生)

募集人数: ○修士課程、4年制博士課程: 12名 ○博士後期課程(3年次編入): 若干名

募集対象: 医学研究科、薬学研究科、工学研究科の、修士課程・博士課程[4年制] 入学予定者、または、博士後期課程 進学・編入学 予定者

出願受付: 平成31年 2月21日(木)～2月26日(火) 午後5時

試験日程: 次のとおり(詳細は募集要項(下記ホームページ掲載)を参照してください)

試験科目	試験内容	場所	合否通知
英語共通試験	英語共通試験(TOEFL/TOEIC などの)成績を願書とともに提出(関係研究科に提出済、又は受験した英語の成績が利用できます)	LIMS事務室	平成31年 3月下旬
口頭試問	平成31年3月7日(木)～11日(水)のいずれか1日に実施(試験実施の場所・時間等の詳細は別途通知します)	京都大学 医学部構内	

詳細はホームページ掲載の募集要項(LIMS事務室でも配付)を参照

リーディングプログラム修了審査

プログラム内学位審査委員会が修了の可否を判定し、全学の博士課程教育リーディングプログラム運営委員会に諮問します。当委員会の審査により、最終的なリーディングプログラム修了を認定します。

学位

▶ 種別

リーディングプログラムの修了要件を満たした学生には、所属研究科の博士学位が授与される際、学位記に「充実した健康長寿社会を築く総合医療開発リーダー育成プログラム」の修了が付記されます。

▶ 授与手順

学位授与にあたっては、プログラム修了審査が実施されるとともに、それぞれの所属研究科において、所属研究科に該当する博士(医学、医科学、人間健康科学、工学、薬学、薬科学)の審査が行われます。

学修実施場所

- ▶ 院生室・セミナー室 医学部構内専用スペース
- ▶ 講義・実習 医学研究科および工学研究科講義室・実習室、京都大学医学部附属病院、関連医療施設など
- ▶ 特別研究 学内研究室・研究所、企業研究所、公的機関研究所など

本プログラムへのお問い合わせ

606-8501 京都市左京区吉田近衛町
 充実した健康長寿社会を築く総合医療開発リーダー育成
 リーディング大学院事務室(LIMS事務室)
 E-mail: info@lims.kyoto-u.ac.jp
 URL: www.lims.kyoto-u.ac.jp/



2018.09.27

大学院入学予定の方へ

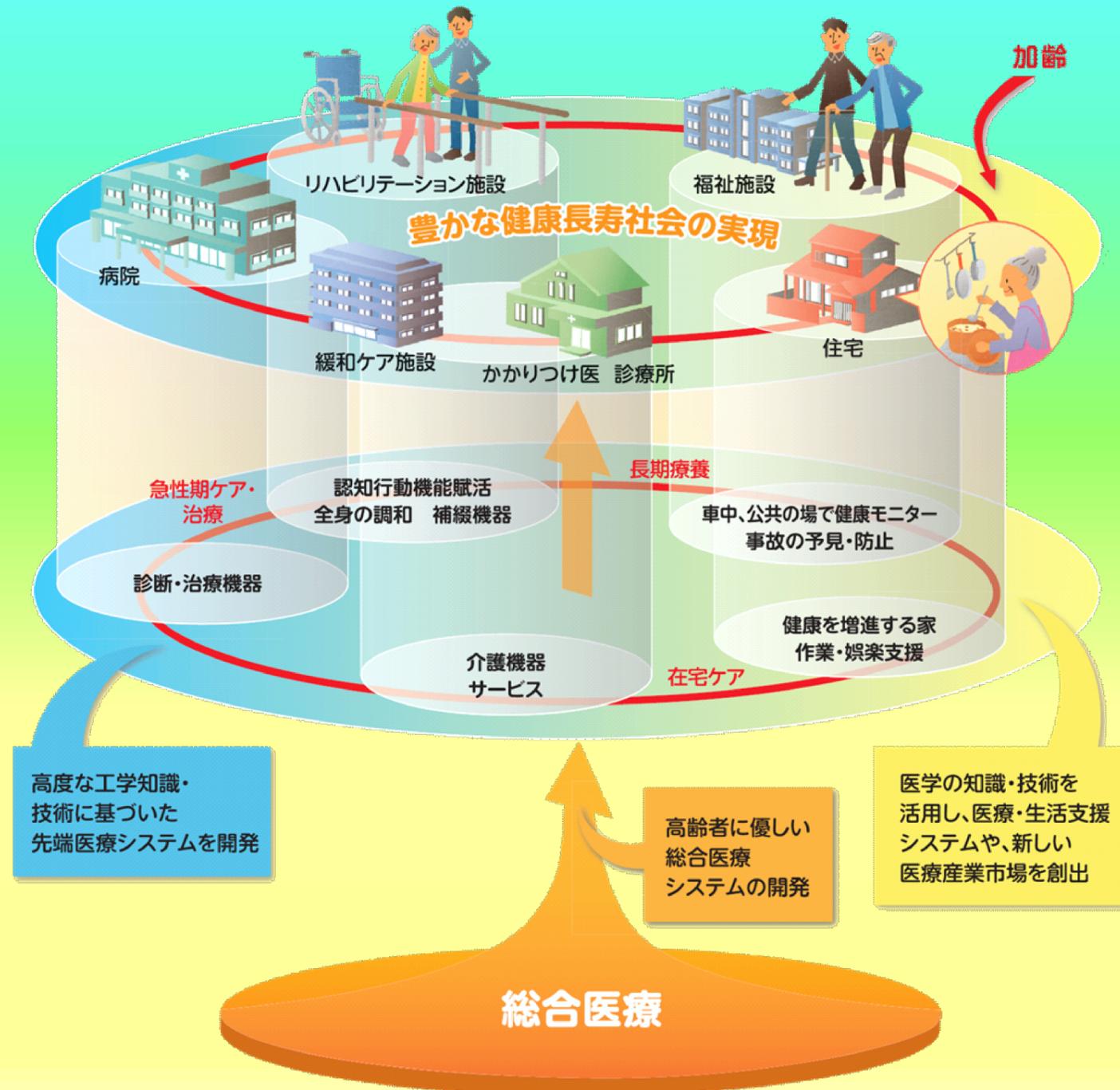
「博士課程教育リーディングプログラム」



京都大学 充実した健康長寿社会を築く 総合医療開発リーダー育成プログラム

Training Program of Leaders for Integrated Medical System for Fruitful Health-Longevity Society

総合医療と新たな医療産業



◆詳しくはHPをご参照ください。→ LIMS: www.lims.kyoto-u.ac.jp/



プログラムコーディネータから皆さまへ

医工連携ということが重要であると言われて久しいですが、本プログラムは、「充実した医学研究環境に触れつつ工学や薬学を学ぶ」という発想で、工学や薬学の基礎・応用研究に加えて医学の基礎から臨床、介護までを学び、医学、工学、薬学の垣根を越えた新しい研究領域を開拓していくことができるリーダー育成を目的としております。

高齢者医療・介護は、特に高齢化が顕著に進んでいる日本で、長い健康長寿を達成するための必須の条件の一つです。単に病院で行う医療だけではなく、一般家庭にもっとも近い、かかりつけ医への支援、長期療養施設のあり方など、高齢化した社会を支えるためのさまざまな工夫を積極的に発信できる人材を育成することも、もう一つの大きな目的です。

多くの若い頭脳がこのような分野への参画を希望することを願ってやみません。



プログラムコーディネーター
福山 秀直

総合医療の構築

世界で人口構成の変化に伴う疾病や障害の変化、社会構造の変化への対応が迫られています。各国に先駆けて超高齢社会を向えた我が国では、高齢者の生活の質（QOL）を向上しつつ健康寿命を延伸すること、高齢者が社会参画しやすい環境を構築すること、医療費の増大を抑制することなどが、喫緊の課題としてあげられます。これら課題を克服し健康長寿社会を達成するため、全く新しい“総合医療”の構築が求められます。

まず、医療・介護・福祉の統合、個人の生活全体を考慮した支援システム、健康に良い生活習慣による疾病や障害の予防などを、具体的な仕組みとして実現することが求められます。医学と工学の高度な技術革新に基づき、病院医療や在宅ケアの向上、新たな医療産業や雇用の創出、地域の活性化など、‘医療イノベーション’の重要性が提唱されています。

更に、これら全体が調和し、個人の一生の推移に応じて活用できる“総合医療”を構築する必要があります。健康長寿社会の日本モデルを創出し、これを持って世界に貢献するため、新たな概念を創案し、多分野の人々を統率して、総合医療を推進するリーダー人材が求められます。

社会からの期待

『社会はどのような人材を求めるか』

自身の研究領域に閉じこもることなく、世界の大きなトレンドや各業界のビジネス慣習などを貪欲に吸収して行き、そこでの課題を専門的な見地から解決できる人材を求めています。

『博士人材にどのような期待をしているか』

専門性についても、自らが実際に行った研究自体に固執することなく、その考え方や方法論など、よりメタな知見をも柔軟に活用し、その能力を活かして貰う事を期待しています。

NTT データ経営研究所

総合医療開発リーダー —— その人物像とキャリアパス

○このプログラムで養成される総合医療開発リーダーの人物像として、以下の例が挙げられます。

- ▶ 先進医療分野の革新的人物として、医学・医療の広範な知識、高度な工学技術を駆使し、高齢者に優しい医療支援機器システムの立案ができる。
- ▶ 高齢者特有のニーズを理解し、自立した生活や社会参加の向上方法を創案できる。
- ▶ 高齢化社会の医療経済問題を深く理解し、プロアクティブに対応できる。
- ▶ 世界標準を目指す医療産業を創出できる。

○これまで無かったような専門職や専門分野を、学生自ら作り出し、開拓してゆくことも期待されています。

- ▶ 産業界において、新しいサービスやビジネスモデルを創出し、高齢者の生活全般を考慮して支援するシステムの整備を牽引する。
- ▶ 大学・研究機関では、医・理工学界に埋もれている斬新な知恵を、日常生活に活用する土壌を開拓する。
- ▶ ベンチャー起業
- ▶ 政府・行政機関において、活力をもって生活できる社会に向けた施策を立案し、産学における研究開発の成果を迅速に社会実装する体制の整備に尽力する。
- ▶ 国際社会で、先端的な医療・介護支援システムの普及促進を行い、質の高い日本モデルをもって健康長寿社会の拡充に貢献する。

学位履修モデルおよびカリキュラム

	講義	演習・実習	学位研究
1年次	基礎科目 数理科学 医療経済学・医療工学特別講義Ⅰ・Ⅱ 学際応用科目	英語でのディベート（国際的リーダーの育成） 病院、高齢者施設、官公機関、国際機関 〔医療現場を知る〕 企業インターンシップ・短期海外留学 〔トランスレールの開発現場を知る、学位研究の問題意識〕	プレリサーチ
2年次			
3年次	英語でのディベート（国際的リーダーの育成）	〔最先端の研究を知る〕 分野横断型大学院教育コース	特別研究
3年次			
4年次			
4年次	英語でのディベート（国際的リーダーの育成）	〔最先端の研究を知る〕 分野横断型大学院教育コース	特別研究
4年次			
5年次	英語でのディベート（国際的リーダーの育成）	〔最先端の研究を知る〕 分野横断型大学院教育コース	特別研究
5年次			

プログラム修了+
学位取得（医学・医科学・人間健康科学・工学・薬学・薬科学）

▶ 人体解剖、生理、組織・病理の講義・実習を通じ、理工薬学系出身者が医学部卒業生に匹敵する基礎医学と生体知識を習得します。

▶ 機械工学、材料化学など工学系科目では臨床現場で使用される、オペレーションデバイスやセンサーの作動原理、医用高分子や人工臓器の材料化学を基礎から学ぶと共に、実際に材料・機器開発の現場見学を通して、医療工学の知識を体得します。

▶ 数理科学では、統計による医用データの解析、プログラミングを使ったシミュレーションによる情報分析を習得します。

▶ 病院・高齢者施設、公的機関、国際機関などでの特別研修を通じ、医療・介護支援などの現場のニーズを理解します。

▶ 経済、医療倫理、知的財産&国際標準化など、社会における医療ルールを理解します。

▶ 企業・国内外研究機関での実践的学修とインターンシップを通じ、修了後すみやかに産官学界で活躍できる、リーダー的素養を身につけます。

※ 博士課程[4年制]においては、別途4年間のカリキュラムが設定されます。

科目一覧 ※（博士課程[4年制]の科目は、若干異なる可能性があります。）

基礎科目	1 工学	機械工学基礎、医用電子工学、材料化学基礎、医薬用高分子設計学、連続体力学、生物分子解析学、画像処理の基礎
	2 薬学	薬物動態学
	3 医学・生物学	人体解剖学、生理学、医化学、加齢医学、再生医学、ゲノムコホート研究
	4 医療倫理	医療倫理
5 数理科学	基礎数学、シミュレーション概論、応用数学	
6 医療経済学	医療経済論、知的財産&国際標準化	
7 医療工学特別講義	医療工学特別講義Ⅰ、Ⅱ	
8 学際応用科目 （講義、実習・病院内研修）	画像診断学（病理画像診断学、放射線画像診断学、MRI画像診断学）低侵襲治療学、生体材料学・人工臓器学、医療情報学、検査機器学・研究機器学、医療・生活支援システム学	
9 英語 debate	英語 debateⅠ～Ⅴ	
10 インターンシップ（海外、企業・公的機関）		
11 プレリサーチ	12 特別研究	